

第2回ワークショップ討議内容

テーマ①：公共サービスのあり方

橿原市の公共サービス（機能）が今後どのようにあるべきかをSTEP1「配置する場所」、STEP2「行政のかかわり方」、STEP3「組み合わせ」について議論しました。

まとめ

主な意見

【配置する場所】

○徒歩圏

- ・生涯学習の場、図書の貸し出し、子どものための機能、体育館の活用、高齢者のための施設等は、徒歩圏に配置

○広域（徒歩圏以外）

- ・給食の提供や子育て交流の場の提供、高齢者のための施設、地域コミュニティの場等は、多少遠くてもまとまった場所があればよいのではないか
- ・上記の機能は、アクセスが良く、誰もが不自由なく行くことができる場所にあるのがよい
- ・図書の貸し出しを徒歩圏に配置するのが難しいのであれば、システムを構築し、サービスの連携をする（例：図書の貸し出しサービスを連携させて様々な施設内で借りたい本を受け取ったり返却したりできる等）

【行政のかかわり方】

○民間でもいいという意見が多かったもの

- ・入浴・レクリエーション
- ・学校給食
- ・スポーツ施設
- ・住宅
- ・文化ホール
- ・駐車場、駐輪場
- ・観光情報の発信

○民間でもいいと思う理由

- ・福祉的視点がないもの（なくなったもの）
- ・既に民間で運営している
- ・民間のノウハウを活用

○民間にした場合の懸念

- ・料金が高くないか
- ・同じサービスが提供されるのか
- ・リスク分散ができるのか

【サービスの組み合わせ】

- ・給食の提供はセンター形式でもよいのではないか
- ・生涯学習の場、図書の貸し出し、子どものための機能、体育館の活用等は、小学校の空き教室を活用するとよいのではないか

A グループの意見

●意見まとめ（発表）

【配置に関する意見（配置する場所・サービスの組み合わせ）】

○ 子どものための施設、高齢者のための施設

- ・乳幼児から小学校までの子どものための施設は、1つにまとめて徒歩圏内に配置
- ・高齢者の活動の場、地域活動の場は、1つにまとめて徒歩圏内に配置

⇒子どものための施設と高齢者のための施設を隣接させて一体的に活用できるとよいのではない
か

⇒病気等が一気に広まる恐れがあるため注意は必要

○ 図書の貸し出し

- ・中学校に図書の貸し出し機能を付与して身近で本が借りられるといいのではないか

○ 消防車の保管、倉庫

- ・消防車の保管と防災備蓄倉庫は機能が類似しているため同じ建物でいいのではないか

【行政のかかわり方】

○民間でもいい機能

- ・入浴・レクリエーションの場の提供

⇒今はほとんど各家庭に浴槽があり、福祉サービスとしての必要性がなくなった

○その他

- ・「スポーツジムの提供」は民間という意見もあったが最終的に行政に意見がまとまった

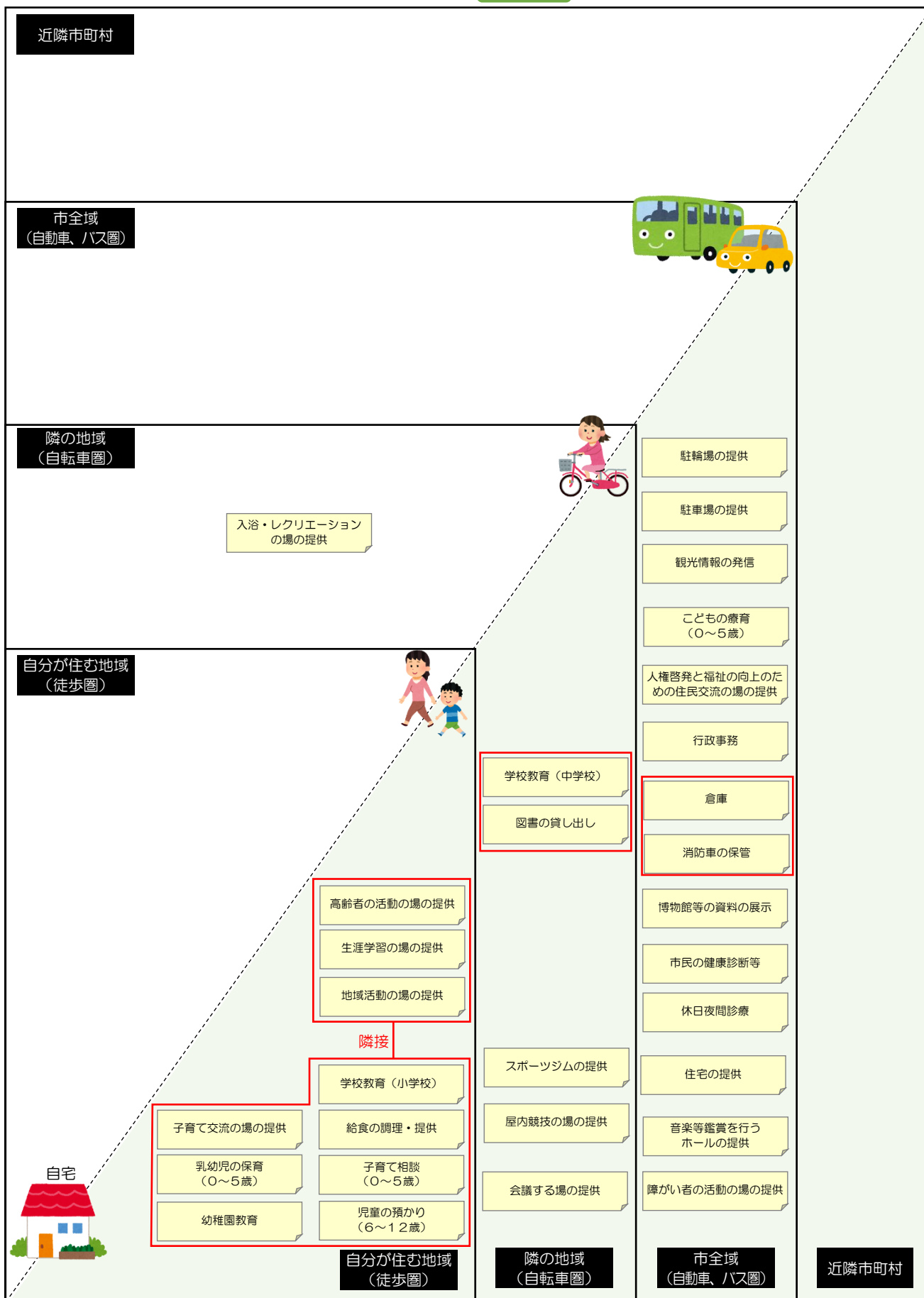
⇒民間だと利用料金が高くなる

⇒市民の健康を守るのも行政の役割であるため

【機能以外に関する意見】

○アクセスの改善

- ・公共施設をどこに配置するにしても、アクセスを改善させることが前提



行政

自分が住む地域（徒歩圏）

○地域活動の場の提供	・利用者が高齢者のため、遠いところに出向けない（小学校区がよい）
○生涯学習の場の提供	・生涯学習のプログラムが地区の公民館主催か、市主催かによって、距離は異なる（市主催だと離れていてもいいが、公民館主催だと近くにあって欲しい）、対象者によっても距離は異なる
○学校教育（小学校）	・小学校は子どもが通うので歩いていける距離でないといけない
○給食の調理・提供	・センター方式は、食事が冷めてしまう ・食中毒等の問題が起こると、影響（被害）が一つの学校でなく広域に広がる ・親が近所で働く場が増える
○子育て相談（0～5歳）	・親が行きやすい場所にあるほうがいい
○幼稚園教育 ○乳幼児の保育（0～5歳） ○児童の預かり（6～12歳）	・親が行きやすい場所にあるほうがいい ・災害があった時すぐに駆けつけられる
○子育て交流の場の提供	・親が小さい子どもを連れて行くため、近い方がいい
○高齢者の活動の場の提供	・利用者が高齢者のため、遠いところに出向けない

隣の地域（自転車圏）

○図書の貸し出し	・近くにほしい、遠すぎていけない（もったいる）
○学校教育（中学校）	・中学校は自転車通学もありなので、自転車圏で良い。ただし道路整備などの環境整備が必要
○会議する場の提供 ○屋内競技の場の提供 ○スポーツジムの提供 ○入浴・レクリエーションの場の提供	・意見なし

市全域（自動車、バス圏）

○観光情報の発信	・現状のナビプラザでよい
○休日夜間診療	・緊急の場合は、車で向かうため離れていてもいい
○人権啓発と福祉の向上のための住民交流の場の提供 ○音楽等鑑賞を行うホールの提供 ○博物館等の資料の展示 ○こどもの療育（0～5歳） ○障がい者の活動の場の提供 ○市民の健康診断等 ○行政事務 ○消防車の保管 ○倉庫 ○住宅の提供 ○駐車場の提供 ○駐輪場の提供	・意見なし

近隣市町村

○なし	—
-----	---

民間

○入浴・レクリエーションの場の提供	・入浴サービスは、今はほとんどの家庭に浴槽があり、福祉サービスとして必要性はないため、民間でもいい
-------------------	---

行政

○屋内競技の場の提供	・民間になると利用料が高くなることが懸念される
○スポーツジムの提供	・民間になると利用料が高くなることが懸念される ・市民の健康を守るのも行政の役割であるため
○地域活動の場の提供 ○生涯学習の場の提供 ○会議する場の提供 ○人権啓発と福祉の向上のための住民交流の場の提供 ○音楽等鑑賞を行うホルの提供 ○図書の貸し出し ○博物館等の資料の展示 ○観光情報の発信 ○学校教育（小学校） ○学校教育（中学校） ○給食の調理・提供 ○こどもの療育（0～5歳） ○子育て相談（0～5歳） ○幼稚園教育 ○乳幼児の保育（0～5歳） ○児童の預かり（6～12歳） ○子育て交流の場の提供 ○高齢者の活動の場の提供 ○障がい者の活動の場の提供 ○市民の健康診断等 ○休日夜間診療 ○行政事務 ○消防車の保管 ○倉庫 ○住宅の提供 ○駐車場の提供 ○駐輪場の提供	・意見なし

- 学校教育（小学校）
- 給食の調理・提供
- 子育て相談（0～5歳）
- 幼稚園教育
- 乳幼児の保育（0～5歳）
- 児童の預かり（6～12歳）
- 子育て交流の場の提供

〔理由など〕

- ・場所も機能も近いので、一体化した施設（徒歩圏内である小学校に統合（複合）するなど）にしてもいい
- ・小学校の空き教室も活用できるのではないかな
- ・親の動きと家族の動きも良くなる
- ・子どもの感染症が一気に広がるおそれがあるので対策が必要

- 地域活動の場の提供
- 生涯学習の場の提供
- 高齢者の活動の場の提供

〔理由など〕

- ・子ども向けの施設（学校、放課後児童健全育成施設、幼稚園）と別の建物でいいが、隣接しているといいのではないかな
- ・徒歩圏であっても、駐車場は必要
- ・子育て関連の施設の組み合わせと隣接していればさらに良い

- 消防車の保管
- 倉庫

〔理由など〕

- ・消防分団車庫と防災倉庫は機能が近い
- ・防災関係は近いほうが良い

- 図書の貸し出し
- 学校教育（中学校）

〔理由など〕

- ・中学校までの道路は整備されているので、行きやすい
- ・図書館も中学校も身近でなじみのある施設であるため中学校で図書の貸し出しがあってもいい、しかし、今の状態では様々な問題があるため、難しいかもしれない

- ・配置はアクセスを考慮してほしい（1人でも行ける環境の整備が必要）
- ・施設までの送迎があるのであれば離れていてもいい（自力で施設に赴くことができない方でも利用できるように）

B グループの意見

●意見まとめ（発表）

【配置に関する意見（配置する場所・サービスの組み合わせ）】

○子育て相談、子育て交流の場の提供、乳幼児の保育、幼稚園教育

- ・0歳～5歳までの乳幼児向けの施設は、各地域に歩いていける範囲で、1つにまとまっているのではないかと

○こどもの療育

- ・市内に1つでいいが、関連する窓口と連携しておくべき

○図書の貸し出し

- ・図書館は市内に1つでいいが、小学校、中学校、地区公民館の図書コーナーと連携すれば今のままでも楽しく利用できるのではないかと
- ・定期的に各施設の本を入れ替えるなど、常に新鮮味があるように管理する

【行政のかかわり方】

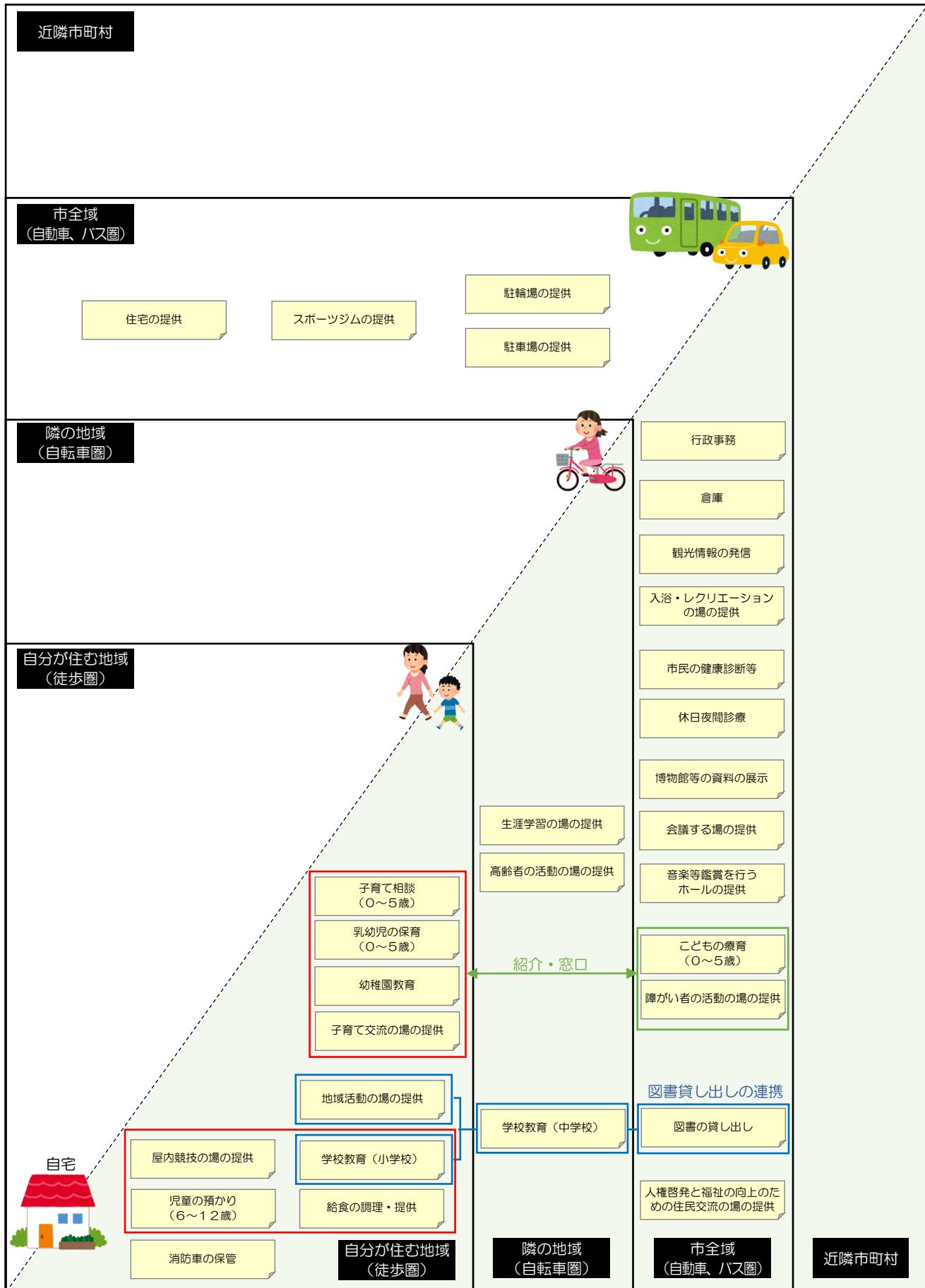
○民間でもいい機能

- ・スポーツジムの提供

⇒既に民間施設があるため

⇒民間スポーツ施設で使える市民特別回数券のような特典が付けられれば、料金が多少高くなったとしても、現状のサービスとそれほど変わらないサービスを提供できるのではないかと

- ・住宅の提供
- ・駐車場の提供
- ・駐輪場の提供



行政

自分が住む地域（徒歩圏）

○地域活動の場の提供	・高齢者など、足が弱い方もいるので近いほうが良い
○屋内競技の場の提供 ○学校教育（小学校） ○児童の預かり（6～12歳）	・子どもが安全に行けることが必要
○子育て相談（0～5歳）	・身近にある方がよく、母親のネットワークも重要 ・子どもが安全に行けることが必要 ・乳幼児を連れて行く場合は家から近い方がよい ・現状は、幼稚園が窓口になってくれている
○幼稚園教育 ○乳幼児の保育（0～5歳） ○子育て交流の場の提供	・身近にある方がよく、母親のネットワークも重要 ・子どもが安全に行けることが必要 ・乳幼児を連れて行く場合は家から近い方がよい
○消防車の保管	・今のままでよい
○給食の調理・提供	・意見なし

隣の地域（自転車圏）

○生涯学習の場の提供	・地域活動の場の提供と比べると、まだ元気な方が利用されているので自転車圏でよい ・毎日使うわけではない
○学校教育（中学校）	・現状のまま自転車で行けることが必要
○高齢者の活動の場の提供	・地域活動の場の提供と比べると、まだ元気な方が利用されているので自転車圏でよい

市全域（自動車、バス圏）

○会議する場の提供 ○博物館等の資料の展示 ○こどもの療育（0～5歳） ○住宅の提供 ○駐車場の提供 ○駐輪場の提供	・今のままで特に問題はないから
○人権啓発と福祉の向上のための住民交流の場の提供	・今のまま1箇所でもよい
○音楽等鑑賞を行うホールの提供	・今のままで特に問題はないから ・多くあるのは贅沢
○図書の貸し出し	・大きな図書館は市に1つでよい
○スポーツジムの提供	・今のまま近くの施設を利用すればよい
○観光情報の発信 ○倉庫	・今のままでよい
○障がい者の活動の場の提供	・今のままで特に問題はないから ・徒歩圏にあってもあまり集まらないから
○入浴・レクリエーションの場の提供	・今のままでよい ・自分で行ける人は良いが行けない人は利用しにくい
○市民の健康診断等	・交通の便がよい場所にあり、今のままで特に問題はないから
○休日夜間診療	・交通の便がよい場所にあり、今のままで特に問題はないから ・そんなにドクターを出せないと思うから1箇所でもよい
○行政事務	・今後は、コンビニ等で証明書等の自動交付が行われるようになるため、市に1つでよい

近隣市町村

○なし	—
-----	---

民間

○スポーツジムの提供	<ul style="list-style-type: none"> ・民間施設が既にあるから ・料金が高くなるなら民間は抵抗がある。民間スポーツ施設になる場合、民間の既存サービスしかないのは困るので、市民の特典（市民パスや回数券）を付けられるとよい
○住宅の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・民間施設が既にあるから ・住む場所が選べるようになり、補助がもらえるならば、民間の運営になってもメリットがあると思う ・市の家賃補助が必要 ・色々な背景の市民がいらっしゃるの、民間ではその辺りまで配慮してもらえるのかが心配 ・生活保護等市の介入が必要な人がいるので、民間になったとしても市が介入できる必要がある
○駐車場の提供 ○駐輪場の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・民間施設が既にあるから ・売却時に利用料金が高くなる可能性がある。料金が高くなるなら民間は抵抗がある。市から補助を出せないか

行政

○休日夜間診療	<ul style="list-style-type: none"> ・輪番制で対応している病院をしっかりと周知すればよい ・民間で輪番制にするのが一番よいと思う ・大きな病院に行くためには、休日夜間診療を介してと言われたことがある
○地域活動の場の提供 ○生涯学習の場の提供 ○会議する場の提供 ○人権啓発と福祉の向上のための住民交流の場の提供 ○音楽等鑑賞を行うホールの提供 ○図書貸し出し ○博物館等の資料の展示 ○屋内競技の場の提供 ○観光情報の発信 ○学校教育（小学校） ○学校教育（中学校） ○給食の調理・提供 ○こどもの療育（0～5歳） ○子育て相談（0～5歳） ○幼稚園教育 ○乳幼児の保育（0～5歳） ○児童の預かり（6～12歳） ○子育て交流の場の提供 ○高齢者の活動の場の提供 ○障がい者の活動の場の提供 ○入浴・レクリエーションの場の提供 ○市民の健康診断等 ○行政事務 ○消防車の保管 ○倉庫	<ul style="list-style-type: none"> ・意見なし

- 子育て相談
- 子育て交流の場の提供
- 乳幼児の保育（0～5歳）
- 幼稚園教育

[理由など]

- ・0～5歳が主な対象（子育て系）の施設はまとめた方がよい

- 子どもの療育（0～5歳）
- 障がい者の活動の場

[理由など]

- ・各地域に配置する子育て系の施設に、「子どもの療育（0～5歳）」と「障がい者の活動の場」を案内する窓口を設置すれば、「子どもの療育（0～5歳）」、「障がい者の活動の場」は徒歩圏内になくとも、市全域に一つあればよい

- 学校教育（小学校）
- 給食の調理・提供
- 屋内競技の場の提供
- 児童の預かり（6～12歳）

[理由など]

- ・6～12歳が主な対象（学校教育系）の施設はまとめた方がよい

- 図書館
- 小学校、中学校の図書室
- 公民館の図書室

[理由など]

- ・小学校、中学校、公民館の図書室の連携により、図書貸し出しが一般開放されるとよいから

その他意見

Bグループ

- ・公共施設までの交通手段が確保されれば、どこに施設があっても問題はなくなるのではないかと。公共施設の再編と交通アクセスは、セットで考える必要があると思う。公共施設までの距離は交通手段で埋められる
- ・高齢者が増えているが、自宅から駅までの距離が遠い人等は交通の便が悪いため利用できない。ターミナル的に公共施設を配置して、バス等で循環（本数は少なくともよい）すれば、公共施設の場所はどこでもよい。バスを配備するのは人件費等で費用が高むので、必要な人がタクシーを利用できる（市が費用補助）ようなデマンド交通で市内を巡回してもらえると便利である
- ・以前は畝傍御陵前の近くに図書館があったが、万葉ホールの中に図書館が移動してしまった。建物を建てる際には利用者の意見を聞いてほしい
- ・似たようなサービスはまとめた方がよい
- ・主なサービスはまとまっても、窓口は身近な場所にあった方がよい

C グループの意見

●意見まとめ（発表）

【配置に関する意見（配置する場所・サービスの組み合わせ）】

○ 地域活動の場、生涯学習の場、高齢者の活動の場など

- ・小学校の空き教室を地域活動の拠点として積極的に活用
⇒今後、子どもが減少し、小学校には空き教室が増えると考えられる
⇒地域住民にとっては卒業した母校であり、愛着もあるため、住民の共通の憩いの場になる
- ・小学校に付随してあるといいと思う機能：図書貸し出しなど
⇒図書館を新設するという意味ではなく、校内に借りたい本を受取ったり、それを返却したりするサービスの窓口を設置

○ 屋内競技の場

- ・既に小学校の体育館等が活用されているが、もっと積極的に活用

○ 子育て交流の場

- ・子育て交流の場が市内のどこかに1箇所にとまると、お母さん方が集まれるため、子育て相談などもでき、お母さんが孤立してしまう事態を改善できるのではないかと

【行政のかかわり方】

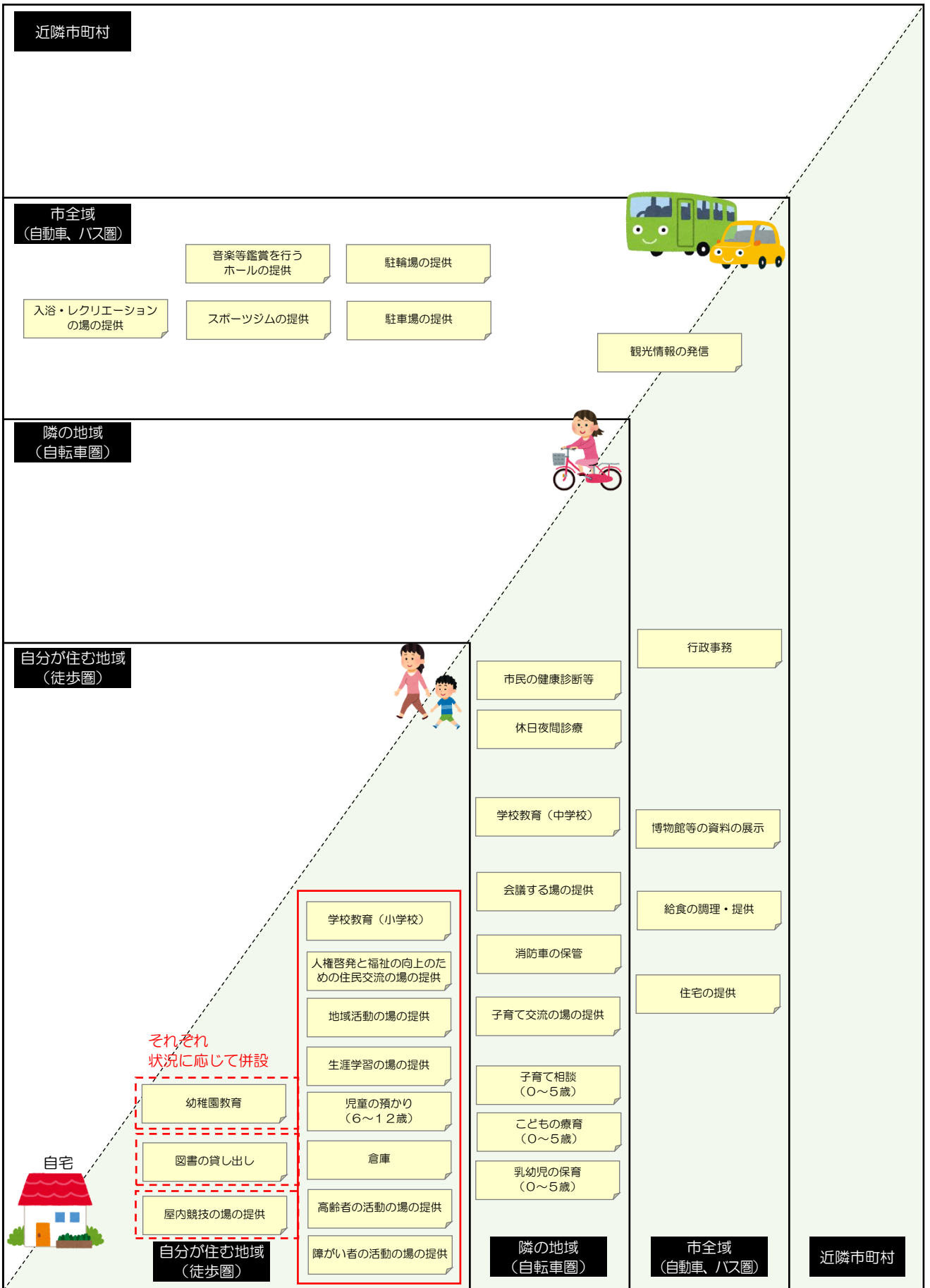
○ 民間でもいい機能

- ・音楽等鑑賞を行うホールの提供
⇒民間の専門的なノウハウを活用すれば、きっちりと経営管理ができ、新しいプログラムをどんどんつくってもらえるのではないかと
- ・スポーツジムの提供
⇒既に指定管理として民間に管理されているものもある
- ・観光情報の発信
⇒行政、観光協会がやるべきところもあるが、例えば、旅行代理店等の民間業者のほうが情報発信力はあるため、情報発信は民間に委託し、市内の観光力を高めるといったことは行政が担う等、機能を分けるといいのではないかと
- ・入浴・レクリエーションの場の提供
- ・駐車場、駐輪場
⇒民間のほうが効率的に管理、運営できるのではないかと

【機能以外に関する意見】

○ アクセスの改善

- ・公共施設の再配置を考える時に、全体に言えるのがアクセスの問題である
- ・誰もが不自由なくアクセスできるということが一番大切なところで、そのためのコミュニティバスの運営等のサービスの充実をもう少し考えていく方が前向きではないかと
- ・大型ではなく、小回りのきく小型のバスで、20分～30分に1本ペースで、不自由なく施設を利用できさえすれば施設が多少遠くてもいい
- ・どこに施設があるかという話し合いよりも、どうすれば利用できるかということ積極的に前向きに考えていったほうがいいのではないかと
- ・コミュニティバス等の運営は、民間に委託することで効率的にできるのではないかと



自分が住む地域（徒歩圏）

○地域活動の場の提供 ○人権啓発と福祉の向上のための住民交流の場の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・車椅子の人や高齢者も使いやすい位置にあるほうがいい ・小学校の空き教室を活用すると思う
○生涯学習の場の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・アクセスが良いところがいい ・小学校の空き教室を活用すると思う
○図書の貸し出し	<ul style="list-style-type: none"> ・近くにあるほうがいい ・今ある公共施設のなかから、いくつかの施設に図書の貸し出し機能を追加すると、色々な場所で本が借りられるのでいいと思う（駅に窓口があって予約しておく、そこで本の受け取りが出来るなど他の自治体で事例がある） ・公民館に図書コーナーがあるのでPRしてもっと使っていくと思う ・地区公民館の図書コーナーの本は古い ・地区公民館の図書コーナーは人がいないと借りることができないため不便
○屋内競技の場の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の体育館を、今も使っているので、それでいいのではないかな
○学校教育（小学校）	<ul style="list-style-type: none"> ・空き教室を活用すると思う
○幼稚園教育	<ul style="list-style-type: none"> ・家の近くにほしい
○児童の預かり（6～12歳）	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の空き教室を活用すると思う ・放課後児童健全育成施設は全体的に環境（会場が狭い、危険な場所に立地してるなど）を見直す必要があると思う
○高齢者の活動の場の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・（地域を活性化させるためにも）近いところにあったほうがいい ・小学校の空き教室を活用すると思う
○障がい者の活動の場の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・近い所にあったほうがよい ・小学校の空き教室を活用すると思う
○倉庫	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の空き教室を活用すると思う ・防災機能は身近な施設に入れるほうがいい

隣の地域（自転車圏）

○会議する場の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・地区に1つあればいい ・地区の会議なので少し遠くてもいい
○こどもの療育（0～5歳） ○子育て相談（0～5歳） ○乳幼児の保育（0～5歳）	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て機能は全てをまとめられるのであれば1つの場所がいい ・子どもが使うものなので近くのほうがいい ・朝など、保育園に行く時に立ち寄れる場所がいい
○子育て交流の場の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館に併設してはどうか ・万葉ホールなどに設置してアクセスを改善すると図書館利用も増えるので良い
○市民の健康診断等 ○休日夜間診療	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の医者が行っているの、その範囲（中学校区）位がいい
○消防車の保管	<ul style="list-style-type: none"> ・いざという時には近くにあるほうがいい（中学校区より近いぐらい）
○学校教育（中学校）	<ul style="list-style-type: none"> ・意見なし

市全域（自動車、バス圏）

○音楽等鑑賞を行うホールの提供	・市に1つあればいい
○博物館等の資料の展示	・市に1つあればいい ・貴重な資料や化石もあるので、いくつかに分散させるとか移動させるのは良くないと思う ・化石の発掘処理など高齢者が参加・楽しめるプログラムも最近は行っていて、充実してきている
○スポーツジムの提供	・冬もプールを活用していくべき
○観光情報の発信	・観光地にあるといい（人が多い駅前など） ・地域向けの情報発信は身近な場所にあった方がいい（チラシの配架など）
○入浴・レクリエーションの場の提供	・市にいくつかあればいい（アクセスの問題あり） ・アクセスの問題を改善する必要がある
○行政事務	・アクセスがよいところがいい
○住宅の提供	・活性化すべき地域に配置してはどうか
○給食の調理・提供 ○駐車場の提供 ○駐輪場の提供	・意見なし

近隣市町村

○なし	—
-----	---

民間

○音楽等鑑賞を行うホールの提供	<ul style="list-style-type: none"> ・公共でなくてもいい ・民間のほうがプロフェッショナルなので、クオリティが高くなる。集客の見込めるプログラムを企画できる
○スポーツジムの提供	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理になってから時間も経つので、民間にしてもいいと思う（既に実績があるから） ・民間のほうがプロフェッショナルなので、クオリティが高くなる
○観光情報の発信（行政も）	<ul style="list-style-type: none"> ・観光協会は行政が担い、地域向けの情報発信や活性化を担う ・外からの観光客の集客や広報は民間の旅行業界のほうがノウハウがある ・それぞれ役割分担をしたうえで民間・行政が行うのが良い
○入浴・レクリエーションの場の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・民間のほうがノウハウがある ・民間のほうがプロフェッショナルなので、クオリティが高くなる
○駐車場の提供 ○駐輪場の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・民間の方が効率がいい

行政

○観光情報の発信（民間も）	<ul style="list-style-type: none"> ・観光協会は行政が担い、地域向けの情報発信や活性化を担う ・それぞれ役割分担をしたうえで民間・行政が行うのが良い
○給食の調理・提供	<ul style="list-style-type: none"> ・外部委託も考えられる
○住宅の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・市営住宅は経済的に厳しい人を受け入れるための住宅なので民間でやるのは難しい ・民間に運営の委託を任せてもよいのでは
<ul style="list-style-type: none"> ○地域活動の場の提供 ○生涯学習の場の提供 ○会議する場の提供 ○人権啓発と福祉の向上のための住民交流の場の提供 ○図書の貸し出し ○博物館等の資料の展示 ○屋内競技の場の提供 ○学校教育（小学校） ○学校教育（中学校） ○こどもの療育（0～5歳） ○子育て相談（0～5歳） ○幼稚園教育 ○乳幼児の保育（0～5歳） ○児童の預かり（6～12歳） ○子育て交流の場の提供 ○高齢者の活動の場の提供 ○障がい者の活動の場の提供 ○市民の健康診断等 ○休日夜間診療 ○行政事務 ○消防車の保管 ○倉庫 	

以下は状況に応じて併設でも良い

- 学校教育（小学校）
- 地域活動の場の提供
- 生涯学習の場の提供
- 人権啓発と福祉の向上のための住民交流の場の提供
- 児童の預かり（6～12歳）
- 高齢者の活動の場の提供
- 障がい者の活動の場の提供
- 倉庫

○幼稚園教育

○図書の貸し出し

○屋内競技の場の提供
（体育館の利用）

〔理由など〕

- ・学校の空き教室を積極的に活用していく
- ・アクセスのよい小学校に機能を集める
- ・地域住民にとって卒業した母校は愛着がある場所であり、活用していきたい

その他意見

Cグループ

- ・施設配置を考える時はアクセスのことも考えてほしい
- ・A地域（耳成・多）はバス等の公共交通が必要
- ・コミュニティバスを万葉ホールを基点につくったらいいと思う
- ・コミュニティバスを香久山・曾我川体育館へものばすといい
- ・大きなバスは必要ない。時間当たりの本数が多く、路線が充実した少人数向けの小回りがきくバスがあるといい、また民間に委託することで効率的にできるのでは
- ・アクセス改善できれば、遠くてもいい施設がある
- ・車が乗れなくなった高齢者のケアのためにもアクセスの改善が必要（後期高齢者で免許証を返還すると移動手段がなくなる）
- ・便利になれば人口が増えて活性化する
- ・身近な施設（近くにほしい施設）は公共が運営し、遠くてもいいのは民間運営でいい
- ・高齢者へ楽しみを、住んで良かったと思える場所にする
- ・ワークショップの意見を反映できないのであればする意味がない

D グループの意見

●意見まとめ（発表）

【配置に関する意見（配置する場所・サービスの組み合わせ）】

○図書の貸し出し

- ・図書の貸し出しは、できれば徒歩圏にあり、身近に図書に親しめる環境があるといい
- ⇒学校の図書機能を充実させる
- ⇒既存の公共施設の空きスペースに図書機能を入れる
- ・身近に図書機能があるといいが、費用がかかる（市内のどこか一箇所にあればいい）
- ⇒民間に委託するなどの工夫が必要ではないか
- ⇒全市的に1箇所に図書の貸し出し機能を集めるならば、誰もが行きやすいアクセスの良いところに配置すべき
- ⇒図書館等の施設まで行かなくても本の取り寄せができたり、返却ポストで返却できたりといったシステムを構築

○給食の調理・提供

- ・各学校でつくって安全・安心な学校給食を提供
- ⇒最近、食の安全のことで、学校給食のことが問題となっているため、やはりその場で作って食べられる給食のほうが子どもにとってはいいのではないか
- ・各学校に給食室があると多くの経費がかかる
- ⇒市内のどこか一箇所にまとめ、そこから市内の学校に配食され、各学校で温めて食べるという形に変えていく必要があるのではないか。その場合、運営等は民間に委託してやってもらうということもできるのではないか

○地域活動の場、高齢者の活動の場、住民交流の場

- ・自動車等で移動できる人にとっては、それほど自分の家の近くになくてもいいが、車を運転できない高齢者等にとっては徒歩圏（700m程度が限界ではないか）にあるほうがいいのではないか
- ・災害時のコミュニティ等を考えると、地域活動の場はできるだけ家の近くにあったほうがいい

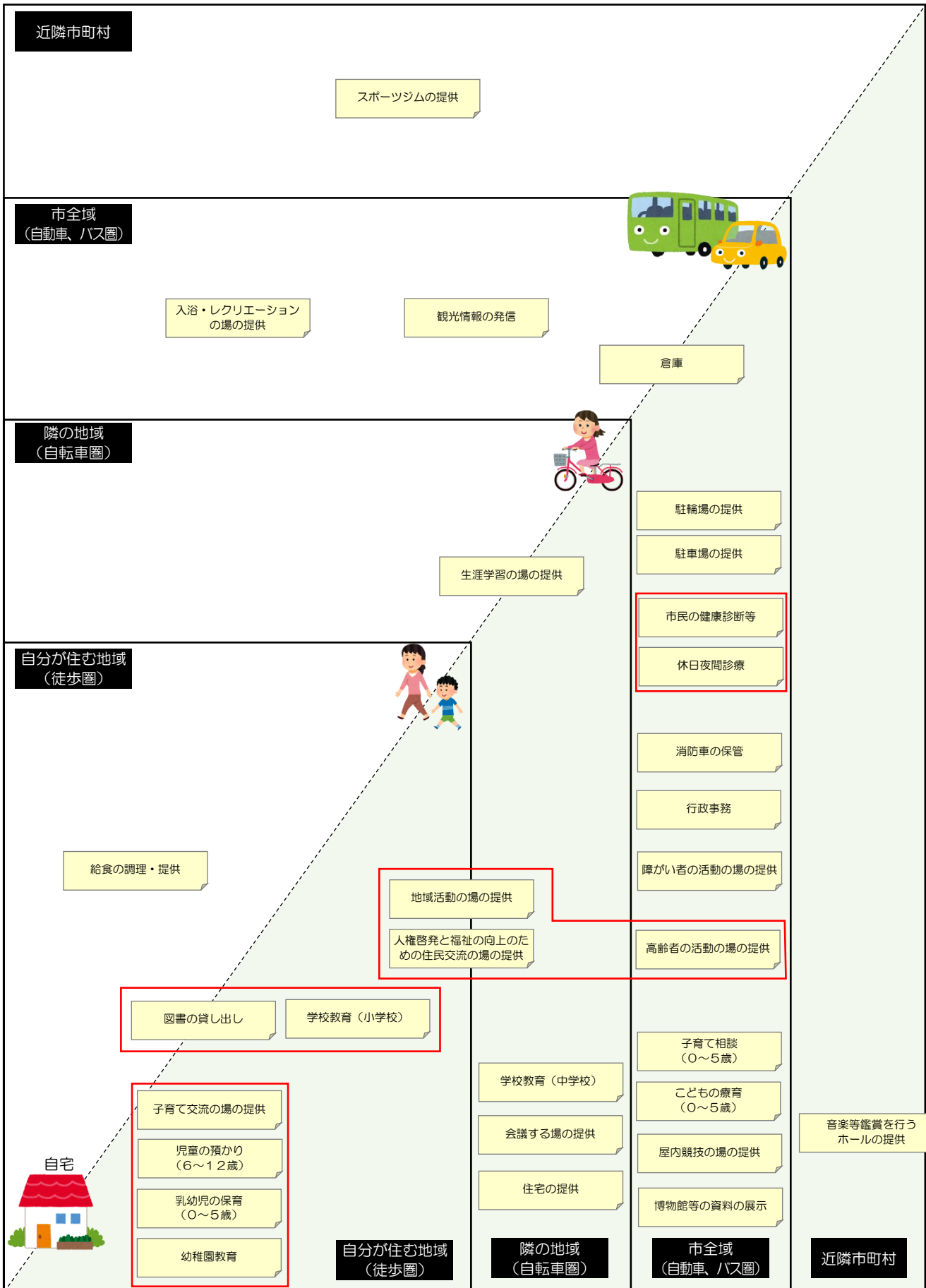
○倉庫

- ・単なる保管のための機能なら、市内のどこか1箇所にあればいいし、民間でもいいのではないか
- ・災害時のことを考えると身近な場所にあるほうがいい

【行政のかかわり方】

○民間でもいい機能

- ・スポーツジムの提供
 - ・給食の調理・提供
 - ・入浴・レクリエーションの場の提供
 - ・観光情報の発信
- ⇒既に民間でやっている



自分が住む地域（徒歩圏）

○地域活動の場の提供 ○人権啓発と福祉の向上のための住民交流の場の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車圏にあるが、公民館等は高齢者が多いので徒歩圏内にあるほうがよい ・地域活動の場は現在、自動車圏にあるが、徒歩圏の方でもよい ・施設が狭い範囲（徒歩圏）にあると災害時に直ぐに使用できる
○図書の貸し出し	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館は利便性のある徒歩圏に1箇所が良い ・小学校の図書館を使用し、誰でも利用できるようにする方法もある ・図書館は小学校の範囲にあればよい。また、小学校の中であればよい（もっと本に親しめる。PM7:00くらいまで開けてくれば大人も迎えに行ける。学童保育に行かなくてもここで勉強することもできる） ・小学校があれば、子供と高齢者が使用できる。（日頃から子供と高齢者が接触することで安心・安全にも繋がる） ・高学年と低学年が話せる ・小学校の教室の空いているところに図書館をおいてほしい
○給食の調理・提供	<ul style="list-style-type: none"> ・給食室は学校ごとにあったほうが、温かい料理が食べられるし、安心・安全である ・経費を考えると一概に各学校にあった方がいいと言えない（葛城市では一括で作っている） ・学校以外の別の場所で給食を作り、各学校でそれを温めることもできる ・給食室同士を集約し、対象エリアを広げることも考えられる
○幼稚園教育 ○子育て交流の場の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・子供の送迎に歩いていけるような場所がよい
○乳幼児の保育（0～5歳）	<ul style="list-style-type: none"> ・子供の送迎に歩いていけるような場所がよい ・相談も直ぐにできる ・仕事をしている人は、保育時間を考えると、駅近など通勤途中にあるほうがよい
○児童の預かり（6～12歳）	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後を過ごすので、小学校区内にあるのがよい ・学童は小学校に近いので、小学校の空き教室を利用していいのではないか
○高齢者の活動の場の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車を利用しない高齢者も多いので、歩いていける徒歩圏がよい ・高齢者が歩くのは700～800mが限界である
○倉庫	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時にすぐ使えるよう、自宅の近くにあったほうがよい。分散させたほうがよい
○学校教育（小学校）	<ul style="list-style-type: none"> ・意見なし

隣の地域（自転車圏）

○地域活動の場の提供 ○生涯学習の場の提供 ○会議する場の提供 ○人権啓発と福祉の向上のための住民交流の場の提供 ○学校教育（中学校） ○住宅の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・意見なし
---	---

市全域（自動車、バス圏）

○図書の貸し出し	<ul style="list-style-type: none"> ・必ずしも自宅の近くになくともよい ・市の中心部に1箇所でもよい ・市に1箇所であるなら、図書を近隣の施設等に配送して取り寄せることができるサービスをしてはどうか ・駅の近く（ナビプラザなど）に本を置いてはどうか。電車の待ち時間等で利用しやすい
○屋内競技の場の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・体育館は結構使用されているが、利用する人が固定化されているようだ
○観光情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客などの来訪者が行きやすい場所（駅、観光地等）にあればよい
○こどもの療育（0～5歳） ○子育て相談（0～5歳）	<ul style="list-style-type: none"> ・財政状況を考えた場合、市に数か所は無理だと思うので、市全域でよい
○高齢者の活動の場の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車のある人なら市のどこにあっても行ける
○入浴・レクリエーションの場の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・市内にいくつもある必要はないし、車で行ければよい
○市民の健康診断等	<ul style="list-style-type: none"> ・頻繁に利用する施設でもないもので、アクセスがよければ、市のどこかにあればよい ・車でいくので、行きやすい場所にあるとよい
○休日夜間診療	<ul style="list-style-type: none"> ・休日や夜間に行くことを考えると車でいく人が大半なので、車で行きやすい場所にあるとよい ・使うのは毎日でなく必要ある時だけならそれほど近くになくともよいのでは
○倉庫	<ul style="list-style-type: none"> ・保管するものは、どこかにまとめてあればよい
○駐輪場の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・通勤通学など、駅利用者が使いやすいように、駅近にあるとよい ・駅に近い人の利便性が高くなるのであったほうがよい
○博物館等の資料の展示 ○障がい者の活動の場の提供 ○行政事務 ○消防車の保管	○駐車場の提供

近隣市町村

○音楽等鑑賞を行うホールの提供	<ul style="list-style-type: none"> ・県の文化会館で代替できるのではないかと
○スポーツジムの提供	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日使うものではないので、市外でよい

民間

○生涯学習の場の提供（行政も）	・半分民間的な所（第3セクター等）でもやっているところがあるので、行政だけで運営しなくてもよい（公民館や学校の施設を利用して民間が運営しているところもある）
○図書の貸し出し（行政も）	・民間が運営している例もあるので、考えてもよいのではないか
○スポーツジムの提供	・料金は高くなるが、すでに民間でもやっているの、行政が運営しなくてもよい
○観光情報の発信 ○入浴・レクリエーションの場の提供	・すでに民間でもやっているの、行政が運営しなくてもよい（実質的に委託している）
○倉庫（行政も）	・単に保管するのなら民間でもよいのでは ・例えば、特別養護老人ホームは避難所にもなっているので、敷地を活用して倉庫を置く方法もある
○給食の調理・提供	・意見なし

行政

○生涯学習の場の提供（民間も）	・半分民間的な所（第3セクター等）でもやっているところがあるので、行政だけで運営しなくてもよい（公民館や学校の施設を利用して民間が運営しているところもある）
○図書の貸し出し（民間も）	・民間の事例もあるが上手くいっていない
○倉庫（民間も）	・いざという時に鍵を直ぐに開けられるように、行政が管理・運営するほうがよい
○地域活動の場の提供 ○会議する場の提供 ○人権啓発と福祉の向上のための住民交流の場の提供 ○音楽等鑑賞を行うホールの提供 ○博物館等の資料の展示 ○屋内競技の場の提供 ○学校教育（小学校） ○学校教育（中学校） ○こどもの療育（0～5歳） ○子育て相談（0～5歳） ○幼稚園教育 ○乳幼児の保育（0～5歳） ○児童の預かり（6～12歳） ○子育て交流の場の提供 ○高齢者の活動の場の提供 ○障がい者の活動の場の提供 ○市民の健康診断等 ○休日夜間診療 ○行政事務 ○消防車の保管 ○住宅の提供 ○駐車場の提供 ○駐輪場の提供	・意見なし

- 子育て交流の場の提供
- 幼稚園教育
- 乳幼児の保育（0～5歳）
- 児童の預かり（6～12歳）

〔理由など〕

- ・子育て世帯にとっては、近くにまとまっているほうが利用しやすい
- ・共通する機能もあるので、一緒にできるのではないか
- ・災害を考えると地域活動の場をこの組み合わせに加えることも考えられる

- 学校教育（小学校）
- 図書の貸し出し

〔理由など〕

- ・小学校の図書館を地域に解放したり、小学校の空き教室に図書館を入れることで、子どもと高齢者が一緒に利用でき、多世代交流の場にもなるし、子ども同士も異年齢交流ができる

- 市民の健康診断等
- 休日夜間診療

〔理由など〕

- ・住民としては、医療施設として一箇所にあるほうが利用しやすい
- ・共通する機能もあるので、一緒にできるのではないか

- 高齢者の活動の場の提供
- 人権啓発と福祉の向上のための住民交流の場の提供
- 地域活動の場の提供

〔理由など〕

- ・地域の施設なので、あえて利用者をわける必要はない
- ・公民館等も実際は高齢者の利用が多い

- ・意見を集めるだけで活用しないのであれば意味がない